

青年部会総会・研修会

期日 令和四年六月十日（金）
会場 県総合社会福祉会館

今年度の青年部会総会と研修会は久しぶりの現地開催として、直接会員の皆さんとお会いできるものとなりました。総会では、県保育連合会会長の土山雅之先生より、コロナ禍における保育業界についてや法人化についてのお話、来賓の細野豪志議員からは「少子高齢化の世の中で今まさに子どもを中心にいる皆さんの時代がやってくる」等のお話をいただき、また部会長の後藤先生からは、「持続可能な組織として皆さんと一緒につくってきたい」、今年度の青年部会は新たに「サードブレイス」という考えを提唱、職場でも家



庭でもない第三の場所をつくっていききたい等のお話をさせていただきました。また今年度の総会後の研修会は二部構成で開催、研修①では行政説明、研修②では講師による研修会を開催いたしました。研修会①行政説明では厚労省子ども家庭局保育課の香取課長補佐、田野課長補佐様よりコロナ情勢や、補助金等についてまた子ども家庭庁についてもふれていただきました。特に保育士の処遇や人材確保とICT化を利用した業務改善は印象的でした。



研修②では、講師に接客向上委員会&Peace代表の石坂秀己先生にお越しいただいて、「ディズニー流 人が育つ風土作り」を

テーマにご登壇いただきました。石坂先生は、東京ディズニーランドのアトラクションの責任者として約十五年勤務し、接客研修の基礎を築き上げ退職後、アミューズメント業界の人材派遣会社にてさらに実績を積み、これまでの豊富な経験を活かし、「接客基本研修」コミュニケーション研修」等を行っています。人材育成の話の中で、「わかりやすいことはを使う」ほ



める認める風土」をつくる事を前提条件として、できるようになることよりも「行動する軸」をつくる事。たいていせつなのは、関係性の構築という冒頭の話から園だけではなくこれからの組織、青年部会としての在り方にも共通する話だなど思いました。

最後にコロナ禍の今だからこそ、選択肢をひろげ、青年部会は元より、会員の先生がたにも、愉しさ嬉しさをもっと発信し共有すること、それこそが、持続可能な組織として大切なのだと改めて感じました。